

2018年 少林寺拳法東京都大会 大会要項

NO	項 目	内 容																																																
1	名 称	2018年 少林寺拳法東京都大会 《以降、「2018少林寺拳法東京都大会」と略す》																																																
2	目 的	東京都少林寺拳法連盟の拳士相互の一層の技術の向上と練磨、並びに同志的連帯意識と昂揚を図り、部外者への周知・理解・協力を図ること																																																
3	日 時	2018年7月15日(日) am9:00~pm5:00(終了予定) 開場 9:00 大会開始10:00 実行委員集合8:00																																																
4	会 場	東京武道館 《住所》足立区綾瀬3-20-1 TEL03-5697-2111																																																
5	主 催	東京都少林寺拳法連盟																																																
6	共 催	関東実業団少林寺拳法連盟 関東学生少林寺拳法連盟 東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部 東京都中学校少林寺拳法連盟																																																
7	後 援	東京都、(公財)日本武道館、報知新聞社、(公財)東京都体育協会、(株)伊藤園																																																
8	大会役員	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>大会 会長</td> <td>西原 春夫</td> <td>: 東京都少林寺拳法連盟</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td>大会 副会長</td> <td>久保 博</td> <td>: 東京都少林寺拳法連盟</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>(予) 青木 豊</td> <td></td> <td>: 全日本・関東実業団少林寺拳法連盟</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td>(予) 三浦 信行</td> <td></td> <td>: 関東学生少林寺拳法連盟</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td>(予) 松木 尚</td> <td></td> <td>: 東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部</td> <td>部 長</td> </tr> <tr> <td>(予) 武藤 道郎</td> <td></td> <td>: 東京都中学校少林寺拳法連盟</td> <td>会 長</td> </tr> <tr> <td>大会名誉顧問</td> <td>本庄 八郎</td> <td>: 東京都少林寺拳法連盟</td> <td>名誉顧問</td> </tr> <tr> <td>実行委員長</td> <td>前田 保男</td> <td>: 東京都少林寺拳法連盟</td> <td>理事長</td> </tr> <tr> <td>副実行委員長</td> <td>畑中 武弘</td> <td>: 関東実業団少林寺拳法連盟</td> <td>理事長</td> </tr> <tr> <td>(予) 星野 克仁</td> <td></td> <td>: 関東学生少林寺拳法連盟</td> <td>委員長</td> </tr> <tr> <td>(予) 堀井 大史</td> <td></td> <td>: 東京都高等学校少林寺拳法専門部</td> <td>委員長</td> </tr> <tr> <td>(予) 早川 正信</td> <td></td> <td>: 東京都中学校少林寺拳法連盟</td> <td>理事長</td> </tr> </tbody> </table>	大会 会長	西原 春夫	: 東京都少林寺拳法連盟	会 長	大会 副会長	久保 博	: 東京都少林寺拳法連盟	副会長	(予) 青木 豊		: 全日本・関東実業団少林寺拳法連盟	会 長	(予) 三浦 信行		: 関東学生少林寺拳法連盟	会 長	(予) 松木 尚		: 東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部	部 長	(予) 武藤 道郎		: 東京都中学校少林寺拳法連盟	会 長	大会名誉顧問	本庄 八郎	: 東京都少林寺拳法連盟	名誉顧問	実行委員長	前田 保男	: 東京都少林寺拳法連盟	理事長	副実行委員長	畑中 武弘	: 関東実業団少林寺拳法連盟	理事長	(予) 星野 克仁		: 関東学生少林寺拳法連盟	委員長	(予) 堀井 大史		: 東京都高等学校少林寺拳法専門部	委員長	(予) 早川 正信		: 東京都中学校少林寺拳法連盟	理事長
大会 会長	西原 春夫	: 東京都少林寺拳法連盟	会 長																																															
大会 副会長	久保 博	: 東京都少林寺拳法連盟	副会長																																															
(予) 青木 豊		: 全日本・関東実業団少林寺拳法連盟	会 長																																															
(予) 三浦 信行		: 関東学生少林寺拳法連盟	会 長																																															
(予) 松木 尚		: 東京都高等学校体育連盟少林寺拳法専門部	部 長																																															
(予) 武藤 道郎		: 東京都中学校少林寺拳法連盟	会 長																																															
大会名誉顧問	本庄 八郎	: 東京都少林寺拳法連盟	名誉顧問																																															
実行委員長	前田 保男	: 東京都少林寺拳法連盟	理事長																																															
副実行委員長	畑中 武弘	: 関東実業団少林寺拳法連盟	理事長																																															
(予) 星野 克仁		: 関東学生少林寺拳法連盟	委員長																																															
(予) 堀井 大史		: 東京都高等学校少林寺拳法専門部	委員長																																															
(予) 早川 正信		: 東京都中学校少林寺拳法連盟	理事長																																															
9	大会種目	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>小学生の部</td> <td>小学生自由(A:4年生以上 B:3年生以下) 規定:小学生(1級・2級・3級・4級・5級・6級・7級・8級~見習)</td> </tr> <tr> <td>中学生の部</td> <td>中学生男子 中学生女子</td> </tr> <tr> <td>一般の部</td> <td>男子(五段以上 四段 三段 初・二段 級) 女子(三段以上 初・二段 級) 男女有段 マスターズ(男子A,B・女子) 大学生(男子・女子) 高校生(男子・女子) 夫婦 親子A・B</td> </tr> <tr> <td>団体の部</td> <td>一般・大学生・高校生・中学生団体 小学生団体3級以上 小学生団体4級以下</td> </tr> <tr> <td>運用法の部</td> <td>男子運用法 女子運用法 必須防具: (一般財)少林寺拳法連盟公認の防具のみの使用とする 公認ヘッドガード、公認ボディプロテクター、公認拳サポーター、公認ファールカップ マウスガード(必須:市販の物でも可) ※6/3 予選実施予定</td> </tr> <tr> <td>マイシードの部</td> <td>詳細については、NO20を参照のこと</td> </tr> <tr> <td>論文の部</td> <td>詳細については、NO22を参照のこと</td> </tr> </tbody> </table>	小学生の部	小学生自由(A:4年生以上 B:3年生以下) 規定:小学生(1級・2級・3級・4級・5級・6級・7級・8級~見習)	中学生の部	中学生男子 中学生女子	一般の部	男子(五段以上 四段 三段 初・二段 級) 女子(三段以上 初・二段 級) 男女有段 マスターズ(男子A,B・女子) 大学生(男子・女子) 高校生(男子・女子) 夫婦 親子A・B	団体の部	一般・大学生・高校生・中学生団体 小学生団体3級以上 小学生団体4級以下	運用法の部	男子運用法 女子運用法 必須防具: (一般財)少林寺拳法連盟公認の防具のみの使用とする 公認ヘッドガード、公認ボディプロテクター、公認拳サポーター、公認ファールカップ マウスガード(必須:市販の物でも可) ※6/3 予選実施予定	マイシードの部	詳細については、NO20を参照のこと	論文の部	詳細については、NO22を参照のこと																																		
小学生の部	小学生自由(A:4年生以上 B:3年生以下) 規定:小学生(1級・2級・3級・4級・5級・6級・7級・8級~見習)																																																	
中学生の部	中学生男子 中学生女子																																																	
一般の部	男子(五段以上 四段 三段 初・二段 級) 女子(三段以上 初・二段 級) 男女有段 マスターズ(男子A,B・女子) 大学生(男子・女子) 高校生(男子・女子) 夫婦 親子A・B																																																	
団体の部	一般・大学生・高校生・中学生団体 小学生団体3級以上 小学生団体4級以下																																																	
運用法の部	男子運用法 女子運用法 必須防具: (一般財)少林寺拳法連盟公認の防具のみの使用とする 公認ヘッドガード、公認ボディプロテクター、公認拳サポーター、公認ファールカップ マウスガード(必須:市販の物でも可) ※6/3 予選実施予定																																																	
マイシードの部	詳細については、NO20を参照のこと																																																	
論文の部	詳細については、NO22を参照のこと																																																	

NO	項目	内容
10	参加組数	参加団体内の出場組数の上限は設けない
11	出場費	1種目につき1人あたり 1,000円 例)組演武の場合 1,000円×2名=2,000円 団体演武8人の場合 1,000円×8名=8,000円 ※1人2種目に出場する場合は、1人あたり2,000円
12	出場資格	以下の条件を満たしている拳士であること ①2018年度の(一般財)少林寺拳法連盟の会員であること ②所属先が東京都少林寺拳法連盟に加盟・準加盟していること ③上記①の所属先団体(所属長)が2018年度東京都少林寺拳法連盟の年会費納入済であること ④所属先が関東実業団少林寺拳法連盟に加盟し、且つ、部の所在地が東京都内であること(例年、他県の競技大会に出場していないことを条件とする) ⑤所属先が関東学生少林寺拳法連盟に加盟し、且つ、活動の所在地が東京都内であること(例年、他県の競技大会に出場していないことを条件とする) ⑥所属先が東京都高体連少林寺拳法専門部に所属していること ⑦所属先が東京都中学校少林寺拳法連盟に所属していること
13	出場種目および資格	①出場種目: 1拳士につき、組演武エントリーは1種目とする ②運用法および団体演武への併用出場は可とする ③出場種目の資格のうち、 全国大会出場選考対象とするのは、同資格または異なる武階の差は1までとする 。競技種目によってはこの限りではない場合があるので「競技に関する詳細」を参照のこと。但し、 都大会出場に関しては柔軟に対応する ④都大会においては、1)中学生と小学生、2)中学生と高校生以上の組み合わせによる組演武の出場は可とする。但し、上記③と同様、全国大会選考対象としない。
14	演武内容	要項内の昨年との変更点、次ページ以降の「種目一覧表」「競技に関する詳細」を必ず参照のこと 昨年と大幅な変更あり
15	別日予選実施について	以下の種目はスケジュールの関係上以下の日程で別途予選を実施予定 ①「男子運用法」の部 ②「女子運用法」の部 ③「弁論」の部 日 時 6月3日(日) 9:00集合 10:00予選開始~12:00(終了予定) 会 場 上板橋体育館
16	競技に関する詳細	別紙を参照のこと
17	服装について	①道衣については、少林寺拳法競技規則 取扱細則 第3章 第5条「服装規定」を採用する ②髪留めは、ゴム製のみ ③メガネの使用の場合は、事前に大会本部に使用申請書の提出のこと 申請書は別途あり ④負傷箇所の保護目的以外のサポーター、テーピングは使用禁止(出場時にコート内主審に必ず申し)
18	危機管理	競技中のケガ等については、応急処置のみ行う。また治療費については、大会実行委員会で加入している保険の補償範囲内で対応するが、出場拳士各自がスポーツ保険等加入すること また、会場内・外での盗難、その他のトラブルについては、一切責任は負わない

NO	項 目	内 容
19	その他の種目について主な変更点(詳細は次ページ以降にて確認こと)	<p>I、親子の部:A(子供が12歳以下、U12と明記) B(子供が中学生以上、O13と明記)と2種目に分かれる(都大会独自種目) <<親子の部A規定>> ①演武時間は1分～1分30秒 ②構成内容については、1構成の最後技の極め、固めは子供が行う ③柔法の逆技については子供のみ使用できる 抜技においてはこの限りではない ※親子の部Bについては、一般の部と同様の演武時間とする</p> <p>II、組演武:男女で組む場合 ①「一般有段者の組合せのみ」「男女有段の部」を設ける。その他の種目については男子の部に出場のこと ②「男女有段の部」のみ、右記を規定とする。女性は守者のみ。構成の最後の技の極め、固めは女性が行う</p> <p>III、一般資格別の部には指定科目を設ける。 ①6構成のうち3構成に以下の科目を最初に組み入れた構成にすること ②但し、五花拳については、その限りではない。</p> <p>IV、「宙で回転する受身について」 ①「男子マスターズの部A」「男子マスターズの部B」「女子マスターズの部」「中学生の部」は「宙で回転する受身」は禁止する ②違反した場合は総合点から15点減点とする。 ③他の種目においては、減点対象となる事項を設ける。 1) 受身が不十分で危険を伴う内容とみなされた場合は総合点より5点減点 2) 攻防に適合していない(守者の体捌き、並びに技の成立条件が不十分な状態で自ら無理に飛ぶ)「宙で回転する受身」は該当する構成の技術度の採点より、各審判員が1点減点</p>
20	マ イ シ ー ド の 部 に つ い て	<p><<参加資格>> ①参加資格については、「NO12.出場資格」を参照のこと ②身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳のいずれかの交付、また医師より障がいの診断を受けている者。 ※障がいの種類及び度合いは不問。 年齢、性別は不問。 ③引率責任者が終始同伴できること ④エントリーの際は障がい者手帳の写しを<u>申込時に大会事務局に提出</u>のこと ※本種目の対象者であっても、本大会での他種目への出場は可</p> <p><<演武内容について>> ①単独演武・組演武(三人掛けを含む)・団体演武のいずれも認める ②組演武においては、健常者との組合せを認める ③介護者同伴の演武を認める ④演武に際し、車いす、杖等の補助器具の使用を認める ⑤武器、法器の使用は認めない</p> <p><<注 意>> ①会場の大きさや来場者数の多さ等、特殊な環境要因によって発作等を引き起こす危険がある場合は、大会参加の是非を慎重にご判断下さい。 ②大会会場においては、応急措置を行うこともできますが、症状によっては救急病院での診察・治療も想定し、健康保険証、障がい者手帳、療育手帳等、治療に要するものを携行してください</p>

NO	項目	内容
21	団体演武について	<p>原則、団体1組あたり1～2名の補欠申込を行うこと 補欠拳士を除いた出場拳士の資格に応じた科目を使用する</p> <p>※団体演武における「資格の応じた科目」については、補欠拳士を除いた出場拳士の資格に基づいたものとする。違反は資格外科目の使用として総合点より10点減点とする</p> <p>※補欠拳士に高段者がエントリーしていても、使用科目が実際に演武をする拳士の資格に応じていない場合は総合点より10点減点とする</p>
22	「論文の部」について	<p>①下記、A～Dの中から、一つテーマを選択し、大会申込時に大会事務局あてに提出のこと(コピー可)</p> <p>②提出された論文は返却はしない</p> <p>③6月3日に予選を行い、大会当日は優秀発表者の弁論発表を行う</p> <p>④《テーマ》</p> <p>A 現在社会における少林寺拳法による“人づくり”の意義</p> <p>B 災害時における支援活動を通じて見えてくる少林寺拳法の価値 ※東日本大震災、または過去3年間の激甚災害への復興支援活動を対象とする</p> <p>C 自分の可能性を信じるとは</p> <p>D 少林寺拳法を始めてからの自分の変化について</p>
23	出場申込方法	<p>出場申込に関しては、必ず所属長は所属内の出場者状況を把握しておくこと 所属長の承諾なしでは申込出来ません</p> <p>【注意事項】</p> <p>①個人情報保護法のため、毎年申込時の各団体担当者のアドレスは、大会終了後に削除しています。申込受付の自動返信は行わないことをご了承ください</p> <p>②大会出場申込にあたって提供していただく個人情報については、大会の運営及びこれに付随する業務以外には利用せず、適切に管理します</p> <p>③個人情報の参照・訂正・削除を求められた場合は、合理的な範囲内でこれに応じます</p> <p>《申込方法》</p> <p>東京都連盟ホームページに全団体共通の申込専用ページを作成することを検討中 申込方法については別途連絡致します</p> <p>※出場申込に関する問合せは、全てe-mailにてお願いします。(NO29参照)</p>
24	出場申込〆切	<p>〆切は、期限厳守のこと。ご協力お願いします。</p> <p>〆切日以降の受付は一切致しません。</p> <p>申込〆切日 5月20日(日) 厳守</p> <p>参加料の振込がない場合、出場できませんのでご了承ください</p>
25	申込内容の変更・取消について	<p>《申込変更・取消》</p> <p>変更〆切:5月31日(木)</p> <p>〆切以降の変更は、出場者名簿、肩章ワッペンにも掲載されない場合があります</p> <p>※大会当日、出場予定コートで全拳士競技終了時不在の場合は、棄権とみなすので、出場コートは間違えないように注意のこと</p>

NO	項目	内容
26	参加料・大会に関する納入方法について	<p>①団体単位で責任者が一括して東京都大会専用の下記の口座へ、他費用と合わせて納入のこと</p> <p>②大会に関する諸費用の納入〆切は5月31日(木)とする。期限厳守のこと</p> <p>③振込の際には団体名 納入金の内訳を必ず明記してください。</p> <p>≪納入先口座≫ ゆうちょ銀行 口座番号 00160-3-767524 加入者名 少林寺拳法東京都大会口</p>
27	入場券について	<p>館内は、全て指定席とする。入場券:1枚あたり1,000円</p> <p>出場者席はアリーナ内観客席には設置していません。観戦希望の場合は必ず入場券を購入してください。</p> <p>申込〆切 5月20日(日)</p> <p>≪申込方法≫ 大会出場申込フォームの1面に記載されている所定の欄に必要な枚数を記入し申込んでください。</p>
28	問合せ先	<p>大会に関する問い合わせについては、e-mailのご利用をお願いします。担当者より回答します</p> <p>問合せ先e-mail: jimukyoku-tokyo@shorinjikempo-tokyo.com</p>
29	復興支援・地元とのコラボ企画	<p>「東日本大震災」で被害にあわれた方々や地域への復興支援を予定しています。(エリア内では「陸前高田市」を中心とした物産展の出店を予定)</p>
30	(株)伊藤園お茶試飲会について	<p>館内において、(株)伊藤園によるお茶の試飲会を行います。どうぞ、お立ち寄りください。</p>
31	館内ブースの設置について	<p>中学、高校に少林寺拳法部を設置している学校を紹介します。来春進学後、部活動で少林寺拳法を続けたいと考えている方はお立ち寄りください。担当者より説明を受けることができます</p>
32	肖像権について	<p>①本大会開催中における関係者および出場者の肖像権に関しては、大会実行委員会がすべて管理いたします。今後の少林寺拳法の普及に活用させていただきますので予めご了承下さい。</p> <p>②本大会開催中は、大会実行委員会から許可された者以外のアリーナ内での撮影を禁止します。</p>
33	演武審査に関するお知らせ≪重要≫	<p>要項⑱項目に対応すべく下記の日程で、演武審査に関する研修を行います。</p> <p>≪受講対象者≫ 大会審査員、所属長、武専学生、その他希望者 ※大会審査員は必ず受講をお願いします</p> <p>≪日程≫</p> <p>①5月20日【東京武道館】 武専東京地区 補講(授業終了後)</p> <p>②6月17日【八王子市総合体育館】 武専東京地区 2時限目 授業内</p>

2018年 少林寺拳法東京都大会種目一覧表

NO	種目	出場資格・注意書き	男	女	演武内容	演武時間	全国大会 対象種目
1	男子五段以上	①都連加盟団体に在籍している拳士を対象とする	◎	×	指定科目あり	1分30秒～2分	男子五段以上
2	男子四段	②有段者の資格は上位の資格に合わせる	◎	×	指定科目あり	1分30秒～2分	男子三・四段
3	男子三段	③年齢・資格：大会当日のものをも有効とする	◎	×	指定科目あり	1分30秒～2分	
4	男子初・二段	④道院拳友会及び財団支部在籍者と大学・中学・高校拳法部在籍者の組合せは可	◎	×	指定科目あり	1分30秒～2分	男子初・二段
5	男子級	⑤学校拳法部在籍者同士での左記の種目に出場の場合は、上申を必要とする	◎	○	自由	1分30秒～2分	
6	女子三段以上	⑥級の部以外は、全て全国大会要項に則り指定科目を組み入れた構成を必須とする	×	◎	指定科目あり	1分30秒～2分	女子三段以上
7	女子初・二段	⑥級の部の男女の組合せは「男子級の部」に出場の事	×	◎	指定科目あり	1分30秒～2分	女子初・二段
8	女子級	⑦男女有段の部のみ構成の入りの守者、及び最後の決めも女性であることを必須とする	×	◎	自由	1分30秒～2分	
9	男女有段	⑧中学生以上の組合せは柔軟に対応するが、全国大会選考対象外となる場合もありうる	◎	◎	規制あり、下記参照	1分30秒～2分	女子護身技法の部
10	男子マスターズA	⑧マスターズの部は男子45才以上、女子35才以上とする	◎	○	自由	1分30秒～2分	男子マスターズA
11	男子マスターズB	⑨上記①～③と同様の条件とする	◎	○	自由	1分30秒～2分	男子マスターズB
12	女子マスターズ	⑩上記⑧の条件を満たし、合計年齢が110才を起点にA,Bと種分けする	×	◎	自由	1分30秒～2分	女子マスターズ
13	親子A	⑪子供は小学生以下、祖父母も可、武階不問	○	○	自由	1分～1分30秒	親子の部
14	親子B	⑫子供は中学生以上、祖父母も可、武階不問	○	○	自由	1分30秒～2分	
15	夫婦	⑬夫婦のみ、武階不問	◎	◎	自由	1分30秒～2分	夫婦
16	大学生男子	⑭大学拳法部に所属している拳士を対象 武階不問	◎	○	自由	1分30秒～2分	大学生男子
17	大学生女子	⑮男女の組合せは「男子の部」に出場の事	×	◎	自由	1分30秒～2分	大学生女子
18	高校生男子	⑯高校拳法部に所属している拳士を対象 武階不問	◎	○	自由	1分30秒～2分	高校生男子
19	高校生女子	⑰男女の組合せは「男子の部」に出場の事	×	◎	自由	1分30秒～2分	高校生女子
20	中学生男子	⑱全団体の中学生拳士を対象とする	◎	○	自由	1分30秒～2分	中学生男子
21	中学生女子	⑲小学生との組み合わせ可、但し全国大会選考対象外とする	×	◎	自由	1分30秒～2分	中学生女子
22	小学生の部A	⑳小学生以下の男女 4年生以上	○	○	自由	1分～1分30秒	小学生の部A
23	小学生の部B	㉑小学生以下の男女 3年生以下	○	○	自由	1分～1分30秒	小学生の部B
24	小学生1級	・24～31種目は規定組演武とし、今年度全日本少年少女武道錬成大会の規定を準用する	○	○	規定	制限なし	
25	小学生2級		○	○	規定	制限なし	
26	小学生3級		○	○	規定	制限なし	
27	小学生4級		○	○	規定	制限なし	
28	小学生5級		○	○	規定	制限なし	
29	小学生6級		○	○	規定	制限なし	
30	小学生7級		○	○	規定	制限なし	
31	小学生8級～見習		○	○	規定	制限なし	
32	一般団体	㉒一般を対象とする 武階不問 6または8名	○	○	構成編成に規定	1分30秒～2分	一般団体
33	大学生団体の部	㉓ ⑭を適用する。それ以外の混成は一般団体の部に出場とする					大学生団体の部
34	高校生団体の部	㉔ ⑯を適用する。それ以外の混成は一般団体の部に出場とする					高校生団体の部
35	中学生団体の部	㉕ ⑰ ⑱を適用する。	○	○	構成編成に規定	1分30秒～2分	中学生団体の部
36	小学生団体3級以上	㉖小学生以下を対象とする。武階不問 6または8名	○	○	構成編成に規定	1分～1分30秒	小学生団体の部
37	小学生団体4級以下		○	○	構成編成に規定	1分～1分30秒	
38	男子運用法	㉗都連・実業団・高校生以上を対象とする	◎	×	攻守分けの立合	1分30秒	男子運用法
39	女子運用法	㉘初段かつ16歳以上	×	◎	攻守分けの立合	1分30秒	女子運用法
40	マイシードの部	㉙大会要項参照のこと	○	○	自由	制限なし	マイシードの部
41	論文の部	㉚大会要項参照のこと	○	○			論文の部

(凡例：◎⇒必須、○⇒可、×⇒不可)

《注意事項》

- ① エントリー数が多数または少数の種目については、分割または統廃合を行う場合がある
- ② 入賞の基準は、10組以上のエントリーがあった種目については6位まで、9組以下の種目は、最大3位までとする
- ③ 級拳士において見習～4級は3級科目まで、3～1級は初段科目まで可 「小学生の自由の部」に出場する見習～7級拳士は6級科目までの使用可
- ④ 小学生が他の種目に出場する場合は、演武時間は出場種目に合わせる。但し、禁止技の規定は全て適用する
- ⑤ 小学生の規定組演武は、2018年度少年少女錬成大会と同じ演武を採用する
- ⑥ 武階の差は、原則1階級までとするが、当大会では制限は設けない。
- ⑦ 組演武の組合せについても、中学生以上の組合せは柔軟に対応する。但し、全国大会選考対象外となる場合もある。
- ⑧ 種目によっては6月3日に予選を実施 対象種目：運用法の部・弁論の部
- ⑨ NO1～8の種目については、指定科目あり、要項を参照のこと
- ⑩ NO9の種目のみ、女性が守者・構成の極めを行う。他の種目についてはこの限りではない

2018年 少林寺拳法東京都大会 競技に関する詳細

共通事項	①本大会は全国大会の予選も兼ねるので、選考・競技内容については、全国大会要項に準ずることを前提とする
	②競技ならびに審査内容については、(財)少林寺拳法連盟競技規則・審判規則に基づく
	③防具の使用は、(一般財)少林寺拳法連盟公認防具のみの使用とする
	④法器、武器(金属、木製問わず)の使用は禁止する
	⑤出場資格については、本大会申込時の種目(資格)で出場のこと (袖章、帯についても、上記に準ずる)
	⑥指定ゼッケンを着用すること
	⑦申込時刻時点、出場申込が多数または少数の種目については、分割または統廃合を行う場合がある
	⑧原則として、同資格の拳士と組み、該当する種目に出場する。 但し、やむを得ず上級資格の拳士と組み合わせる場合は、上級資格の部に出場する。 武階が2階級以上離れて本大会に出場することは可(この場合は全国大会選考対象外とする)
	⑨組演武はすべて2人一組とし、三人掛けは不可とする(障がい者の部は除く)
	⑩「演武の構成」において、柔法で技に取り掛かる前の払いと2連までの反撃は1構成とみなさない。剛法の場合、攻者による2連攻撃までのやり直しは1構成とみなさない
変更・特記事項	⑪使用科目は資格に準じたものとする
	⑫資格外の科目の使用は10点減点とする。但し、一般級拳士で使用できる技は見習～4級は3級科目まで、3～1級は初段科目まで可。小学生7級～見習においては、少年部6級科目まで使用可
	⑬<「男女有段の部」のみ適用事項> ※それ以外の種目での男女の組合せでは、下記の適用はしない i) 男性の女性に対する技の極め、投げ、固めを禁止する ii) 技の構成は全て女性が守者から始まり、その後に関連反撃でも女性が柔法・剛法のいずれも技を極め、固めを行うこと iii) 違反した場合は、総合点より15点減点とする。
	⑭<親子の部A:規定内容のみ適用事項> i) 1構成の最後技の極め、固めは子供が行う ii) 柔法の逆技については子供のみ使用できる 抜技においてはこの限りではない iii) 違反した場合は、総合点より15点減点とする。
	⑮<「宙で回転する受身」に適用する事項> i) 「男子マスターズの部A」「男子マスターズの部B」「女子マスターズの部」「中学生の部」は「宙で回転する受身」は禁止する ii) 違反した場合は総合点から15点減点とする。 iii) 他の種目においては、減点対象となる事項を設ける。 1) 受身が不十分で危険を伴う内容とみなされた場合は総合点より5点減点 2) 攻防に適合していない(守者の体捌き、並びに技の成立条件が不十分な状態で自ら無理に飛ぶ)「宙で回転する受身」は該当する構成の技術度の採点より、各審判員が1点減点
	⑯<一般男子・女子各資格別種目に適用する事項>「科目指定組演武」として i) 科目指定別組演武を採用 ii) 指定された科目を6構成のうち、3構成の最初に使用すること。ただし、五花拳のみは構成の最後に使用可 iii) 指定された科目を度の構成で使用しているかを事前に指定用紙にて届出を行う

種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
1 男子五段以上の部	押門投外: 攻者は上段逆突のみ 裏投 半月返: 守者は乱構から開始	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成については左記の科目を最初に使用すること。但し、五花拳のみは構成の最後に使用可 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
2 男子四段の部	片手投切返 三日月返: 守者は待機構 連反撃「刈足」の使用は任意 押受投	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成については左記の科目を最初に使用すること。但し、五花拳のみは構成の最後に使用可 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
3 男子三段の部	片手投切返 三日月返: 守者は待機構 「刈足」の使用は任意 押受投	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成については左記の科目を最初に使用すること。但し、五花拳のみは構成の最後に使用可 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
4 男子初・二段の部	逆転身蹴: 守者は八相構から開始 対天一 逆蹴地三	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成については左記の科目を最初に使用すること。但し、五花拳のみは構成の最後に使用可 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
5 男子級の部		演武時間: 1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 見習～4級: 3級習得科目まで使用可 3～1級: 初段習得科目まで使用可 級拳士の男女の組合せについては、男子級の部に出場のこと
6 女子三段以上の部	逆袖巻 上受投 私受地二	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成については左記の科目を最初に使用すること。但し、五花拳のみは構成の最後に使用可 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
7 女子初・二段の部	龍投 諸手輪抜 巻落	演武時間: 1分30秒～2分 6構成のうち、3構成については左記の科目を最初に使用すること。但し、五花拳のみは構成の最後に使用可 武階の2階級以上の差は都大会の出場は可。
8 女子級の部		演武時間: 1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 見習～4級: 3級習得科目まで使用可 3～1級: 初段習得科目まで使用可
9 男女有段の部	女性が構成の最初は必ず守者 構成の最後の「極め」も女性	演武時間: 1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 有段者のみを対象とする。男女級の組み合わせは、男子級の部へ出場のこと

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
10	男子マスターズAの部	「宙で回転する受身」は禁止	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
11	男子マスターズBの部	「宙で回転する受身」は禁止	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
12	女子マスターズの部	「宙で回転する受身」は禁止	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと
13	親子の部A	親子の部Aの規定あり (共通事項参照)	演武時間:1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 子供が各構成最後の技の極め、固めを行う 柔法の逆技においては子供のみ使用できる 上記を違反した場合は総合点より15点減点とする 小学生以下への禁止科目は、下記の表を参照のこと
14	親子の部B	中学生は「宙で回転する受身」は禁止	演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする
15	夫婦の部		演武時間:1分30秒～2分 1～6構成内容についてはすべて自由とする

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
16	大学生男子の部		演武時間:1分30秒~2分 武階不問 1~6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
17	大学生女子の部		演武時間:1分30秒~2分 武階不問 1~6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと
18	高校生男子の部		演武時間:1分30秒~2分 武階不問 1~6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
19	高校生女子の部		演武時間:1分30秒~2分 武階不問 1~6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと
20	中学生男子の部	中学生は「宙で回転する受身」は禁止	演武時間:1分30秒~2分 1~6構成内容についてはすべて自由とする 男女の組み合わせはこの種目に出場のこと。出場資格については前項の一覧表で確認のこと
21	中学生女子の部	中学生は「宙で回転する受身」は禁止	演武時間:1分30秒~2分 1~6構成内容についてはすべて自由とする 出場資格については前項の一覧表で確認のこと

	種目名	演武内容の規定 指定科目・必須条件	種目内容詳細
22	小学生自由の部		演武時間:1分～1分30秒 1～6構成内容についてはすべて自由とする 小学生以下への禁止科目は、下記の表を参照のこと
23	小学生1級の部	規 定 (2018年度少年少女錬成大会で 行う規定組演武)	組合せは小学生以下、未就学児も出場可。演武時間の規定は設けない。 組演武内容は2018年度少年少女錬成大会で使用使用する規定組演武を採用
24	小学生2級の部		
25	小学生3級の部		
26	小学生4級の部		
27	小学生5級の部		
28	小学生6級の部		
29	小学生7級の部		
30	小学生8級～見習の部		
31	一般団体の部	団体演武構成の規定あり (右記参照)	大会要項に記載されている科目の使用について必ず確認すること 演武時間:1分30秒～2分 演武構成については、1・6構成を単独演武 2～5構成を組演武(2人1組)とする(3人は不可、違反の場合は総合点から15点減点) 単独演武は、以下の基本単独法形より、1構成目、6構成目で各々1技選択し、一方向のみで行う 《基本単独法形》 天地拳第1～6系、義和拳第1・2系、龍王拳第1・3系、龍の形、紅卍拳、白蓮拳第1系 使用する科目は、出場する構成メンバーの最高資格者に応じた範囲までとする 合図的は動き、気合は不可とし、総合点より5点減点する 使用科目とエントリーに関する注意点は「大会要項22」を確認のこと
32	大学生団体の部		
33	高校生団体の部		
34	中学生団体の部		
35	小学生団体3級以上の部	団体演武構成の規定あり (右記参照)	演武時間:1分～1分30秒 構成人数は6か8名。構成メンバーの最上級資格によって、「3級以上の部」または「4級以下の部」に出場 演武構成については、1・6構成を単独演武 2～5構成を組演武(2人1組)とする(3人は不可、違反の場合は総合点から15点減点) 単独演武は、以下の基本単独法形より、1構成目、6構成目で各々1技選択し、一方向のみで行う 《基本単独法形》 天地拳第1～6系、義和拳第1・2系、龍王拳第1・3系、龍の形(逆小手単演)、卍の形、白蓮拳第1系 使用する科目は、構成メンバーの最高資格者に応じた範囲までとする 号令、気合を合図として用いることを可とする
36	小学生団体4級以下の部		
37	男子運用法の部	双方攻守による立合評価法	出場資格:①18歳以上且つ資格が初段以上であること ②東京都連盟、関東実業団連盟、 東京都を拠点とした関東学生連盟に登録している拳士 申込は、大会出場申込と同一のエントリーシートで申込のこと 7月15日は大会運営スケジュール上本選のみ行う 別途予選会を6月3日に実施予定
38	女子運用法の部		
39	マイシードの部	単独演武・組演武・団体演武 いずれも可(右記参照)	単独演武・組演武・団体演武のいずれも認める 組演武においては健常者との組合せは可 介護者同伴の演武も可 三人掛けの組演武も可 演武に際し、車いす・杖等の補助器具の使用を認める 武器・法器の使用は認めない
40	論文の部		詳細については、大会要項NO22を参照のこと 別途予選会を6月3日に実施予定
備考	小学生に対する禁止技	肘抜より前天秤・送巻天秤・逆手投・龍投・外巻天秤・切返天秤・切返巻天秤上受逆手投・逆天秤・腕十字固・天秤固・送天秤捕(二種)・吊上捕・吊落・袖 巻天秤・外巻落・投技に対し宙で回転する受身(身体全ての部位が地面から離れる受身)・刈足及び後刈倒 ※「一本背投」や「肩車」に対して大車輪を用いた受身については小学生の部禁止技としない 中学生以上が小学生に対して龍華拳、五花拳、金剛拳、羅漢拳(逆技)を用いることも禁止とする	